

環境白書の刊行にあたって

広島県知事 湯崎英彦



私たちが住む広島県は、南に瀬戸内海の多島美、北に雄大な中国山地を有しており、豊かな自然環境に恵まれています。

県では、この恵み豊かな環境を将来にわたって守り育てるため、「第3次広島県環境基本計画」、「第2次広島県地球温暖化防止地域計画」、「第3次広島県廃棄物処理計画」及び「生物多様性広島戦略」を策定し、環境と経済の好循環を図りながら、環境への負荷の少ない持続可能な地域社会づくりを目指して、県民や事業者の皆様と連携・協働した取組を進めているところです。

このような中、本県の環境を取巻く課題は日々変化しています。

深刻な被害をもたらした東日本大震災及び原子力発電所の事故を契機に、国においてエネルギー政策の見直しが行われており、併せて温室効果ガスの削減目標の見直しを含む地球温暖化対策計画の策定が進められています。

また、中国で深刻な大気汚染を引き起こしたPM2.5の越境汚染等、新たな環境問題も発生しています。

県では、このような課題に対して、適切に対応し、県民の皆さんが、広島に生まれ、育ち、住み、働いてよかったと心から思える広島県を実現するために、さまざまな取組を進めていきます。

この白書では、第3次広島県環境基本計画の体系に沿って、県の環境の現状や課題及びこれらに対する取組などを幅広く掲載しています。

持続可能な社会の形成に向けて、あらゆる主体が考え行動することで、広島が変わります。

本書が、本県の環境についての理解を深め、考え、そして行動につなげていただくための一助となることを期待します。

平成25(2013)年9月